

2025 年 10 月 14 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【金価格が最高値更新】

金価格の急上昇が加速している。

金価格の対ドル価格は、1 トロイオンス当たり 4000 ドル台に上昇した。

金価格の対円価格は、1 グラム当たり 2 万円台に上昇した。

この金価格の上昇の理由は、米国の金利引き下げの流れ、ウクライナや中東情勢の懸念、米国の政府機関の閉鎖などが挙げられている。

さまざまな要因が複合的に金価格の上昇に寄与している、と考えます。

そして、世界的なインフレ懸念も金価格の上昇の大きな理由と考えます。

金価格の上昇のスピードが急激に過ぎるので、「一定の水準」に到達した後では、それなりの修正局面を迎える時が来るのだろう、と予測しています。

しかし、当面のところは、まだ、その「一定の水準」には届いていない、と考えます。

何故ならば、先に挙げた金価格の上昇の理由に、大きな変化が見られないからです。

中東情勢では、トランプ米国大統領の努力で人質が解放されるなど、良いニュースも出ているが、平和と安定の合意が成されるのか、未だに、はっきりとはしていない。

そして、米国が、今後も金利を引き下げる可能性は非常に高い、と考えます。

+++++

ここで、「通貨の機能」をテーマ（話題）にします。

通貨には、いくつもの重要な役割がありますが、その一つに、価値を保存する機能があります。

つまり、蓄えて、それを取っておく働きです。

たとえば、日本円で 100 万円の通貨があったとします。

銀行や郵便局に預けておけば、その 100 万円は、1 年後でも 2 年後でも、100 万円として戻ってきます。

日本は超低金利政策を採って長い期間が経っていますから、「預けておけば利子が付きます」とは、言い難いのですが、通常は、元本保証の金融商品に預けた場合は、その元本の価値を保存して、利息を受け取ることができます。

こういった、通貨（お金）の働きを、「保存機能」とか「ストック機能」と呼びます。

+++++

金（ゴールド）にも通貨と同じように、価値を保存する機能、すなわち、「保存機能」があります。

ただし、金（ゴールド）は保有していても、利息は付きません。

なおかつ、金（ゴールド）には、価格変動リスクがあります。

+++++

しかしながら、先に述べたように、金価格が上昇傾向にあるのならば、通貨で価値を保存するのではなく、金（ゴールド）で価値を保存しよう、と考える人が出てくるのも当然です。

金価格が上昇している要因の一つに、保有している富を保存する目的で、金（ゴールド）を購入している人がいることを加える必要がある、と考えます。

+++++

+++++

（2025 年 10 月 14 日東京時間 23 : 00 記述）